

2022年度

きつおん臨床オンラインセミナー



学齡期吃音の臨床 エビデンスと実践

10/23 (日)

13:30-13:40 開会挨拶・趣旨説明

コーディネーター 横井秀明 (全国言友会連絡協議会)

13:40-15:10

講演 「吃音のある小学生への介入のエビデンス」

飯村大智 先生 (川崎医療福祉大学)

15:20-16:50

実践講座

「小学生に対するリツカムプログラムの導入」

角田航平 先生 (国立障害者リハビリテーションセンター病院)

「小学生に対する流暢性形成法 指導の実際」

高橋三郎 先生 (東京都小学校教諭)

開催方法: オンライン (Zoomミーティングを使用)

受講料: 6,000円 * 9月30日 (金) までにお申し込みいただいた場合は5,000円

対象者: 言語聴覚士、臨床心理士 / 公認心理師、教員など支援者

参加をご希望の方は、下記URLから、お申し込みください。

<https://forms.gle/qaGooSWanGTiCwkrR8>



主催 NPO法人 ぜんこくげんゆうかいれんらくきょうざikai 全国言友会連絡協議会

info@zengenren.org
<https://www.zengenren.org>



講師



■飯村大智 先生

川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科 助教。言語聴覚士。博士（障害科学）。

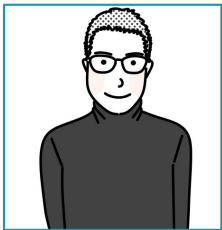
吃音のある人の就労をはじめ、幅広い分野の研究に取り組んでいる。2022年、わが国における過去40年の学齢期の介入研究についてまとめたシステムティックレビューを発表。著書には、『吃音と就労：先輩から学ぶ上手に働くコツ』（学苑社、2019年）などがある。



■角田航平 先生

国立障害者リハビリテーションセンター病院 リハビリテーション部 言語聴覚療法勤務。言語聴覚士。修士（医科学）。現在、東北大学 大学院教育学研究科 博士後期課程に在籍。

小児吃音を中心に、豊富な臨床経験を持つ。「学齢期吃音児の無作為化比較試験による治療効果の検討」責任研究者。



■高橋三郎 先生

きこえとことばの教室担当教諭。公認心理師。臨床発達心理士。博士（教育学）。

日本学術振興会 科学研究費助成事業「吃音の生起に影響を及ぼす音韻的要因の分析：幼児と学齢児を対象として」（2020年）など、主に吃音の生じやすさに影響する言語的要因に関する研究に取り組んでいる。令和3年度文部科学大臣優秀教職員表彰。

コーディネーター

■横井秀明

吃音当事者。14歳の時に言友会に参加し、今年で四半世紀を数える。2013年から全言友会連絡協議会理事、2019年からは事務局長を務める。言語聴覚士。

私たち言友会（げんゆうかい）は、吃音のある人のセルフヘルプグループ（当事者団体）として歩み始めてから、半世紀以上を数えました。その活動を通して、「吃音があっても、豊かに生きる」が実現可能であることに、自信を持っています。

ただ、そのためには伴走してくださる方の存在が欠かせません。そこで、今回は、言語聴覚士など支援者を対象としたオンラインセミナーを開催することに致しました。

吃音のある人が、そして子ども達が「吃音があっても、豊かに生きる」ことのできる社会を実現させるために、ぜひ皆様の力を貸してください。

吃音があっても、 豊かに生きる。

